

平成 26 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	西部福祉会館	所管課	高齢福祉課
所在地	岐阜市西荘2丁目11番23号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募	<input type="checkbox"/> 非公募	
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料	<input type="checkbox"/> 利用料金	<input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	10,858,628円		
施設の設置目的	高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的として、西部福祉会館を設置する。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建て(うち1階部分) ◇敷地面積:1,982.88㎡ ◇延べ床面積:378.94㎡ ◇開館:昭和49年5月 ◇施設内容:集会室、談話室、和室、湯沸室、機械室、事務室等 ※「青少年ルーム」と合築、2階部分は青少年ルームの管理		

●利用状況

	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期
利用者数(単位:人)	8,198	8,875	8,130	8,633	7,868
各室利用 人数(人)					

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	① 岐阜市老人福祉センター施行規則第2条のとおり履行 ② 所長、常勤1人、非常勤1人、看護師(1日/月)を配置 ③ 広報ぎふ及び施設内掲示板を利用 ④ ご意見箱の設置。苦情については「岐阜市社会福祉事業団苦情解決に関する事業実施要綱」により、施設長を苦情解決責任者として第三者委員と協力して解決にあたる仕組みをとっている。
自主事業・提案事業	-	
施設管理	①夜間警備業務 ②施設清掃業務 ③防災機器保守点検 ④貯水槽清掃業務	① 夜間警備業務(警備機器による警備) ② 施設清掃業務 (年3回:7月29日、12月22日、3月25日に実施) ③ 防災機器保守点検 (年2回:9月2日、2月16日に実施) ④ 貯水槽清掃業務(年1回:3月12日に実施)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	<職員による修繕> ① パイプ椅子の座面修理 ② 倉庫内の電気機器の修繕 ③ クーラーサーバーのレバー修繕 <業者修繕> ④ 空調機器の取替 ⑤ トイレの改修、事務所のドア取換
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	・岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規定の遵守 ・緊急時対応マニュアルに沿って対応する仕組みをとっている。 ・消防訓練(年2回:6月11日、11月7日に実施) ・講座申込書に「利用者家族への緊急連絡先」を記入

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>○利用者アンケートは1月19日から3月11日の間に実施した。 ○講座は受付で受講者にアンケート用紙を配布し回収箱を設置して回収した。 ○サークルは代表者から会員にアンケート用紙を配布し回収箱を設置して回収した。 ○アンケートは「性別」、「年齢」、「職員の対応」、「講師について」、「施設の管理」等の項目について質問した。 ○回収枚数 362枚</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○性別 362人中（男性:98人、女性:264人） ○性別及び年齢 男性 60歳～64歳:3人、65歳～69歳:33人、70歳～74歳:26人、75歳以上:36人 女性 60歳～64歳:25人、65歳～69歳:74人、70歳～74歳:71人、75歳以上:94人 ○職員の対応 大変満足47.8%、満足43.9%、普通8%、やや不満0%、不満0.3% ○講師について 大変満足61.1%、満足34.7%、普通3.3%、やや不満0.4%、不満0.4% ○施設の管理 大変満足29%、満足48%、普通21%、やや不満2%、不満0% ○利用者の主な声 ・椅子にさせていただいて大変うれしいです。 ・心からご親切に温かく迎えていただき感謝の日々です。 ・感じの良い対応をいつもして頂け嬉しく感じます。 ・温かくご指導いただき生きがいを求めて書ける喜びと幸せを頂いています。 ・自由に飲めるお茶までご用意いただき大変うれしく思います。 ・清潔な環境が快いです。</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>○利用者からの苦情はなかった。要望については、講師や講座、サークルの代表者に当館の考えや対応方法を説明した。あわせて、要望に対する回答を館内に掲示するとともに閉講式でも説明する等、利用者の周知に努めた。なお、要望者がわかっている場合は直接説明した。 ○主な意見と対応 ・駐車場の拡張については市から難しいと聞いている。バス等公共交通機関を利用してほしいとお願いした。 ・トイレは27年1月に改修したと回答した。 ・駐輪場の拡張要望については市に要望していると回答した。 ・講師への要望については講師に要望事項を説明して対応をお願いした。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・「広報ぎふ」の他、ホームページ、施設内の掲示板を活用。 ・講座受講生は定員を超えた場合、第三者立会いのもとで抽選し、もれた人にはサークルへの加入をすすめる。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・指定管理者が発行する機関誌による広報。 ・指定管理者が定めた「情報公開規定」に基づき対応。	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・「ご意見箱」を常設するとともに、相談の受付など日々の業務を通じたニーズ把握。 ・指定管理者が定めた「苦情解決に関する事業実施要綱」に基づき対応。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・利用者からの生活、健康等に関する相談に対応。 ・施設の点検、樹木の選定など快適な環境に努める。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・指定管理者が発行する機関誌やホームページ等で広報。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・定期的に利用者アンケート調査を実施。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・経験のある職員を配置し、スタッフの機動的な対応を図る。	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	収支計画の妥当性	・収支計画に沿った運営。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・運営管理している他施設との一括発注及び指定管理期間を超えない複数年契約による経費削減。 ・地域住民との連携を図り、ボランティアでの協力を得ることによる経費削減。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・サービスを低下させないように、効率的に職員を配置。	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	・民事再生法や破産法に基づく再生／破産手続き開始の申立てをしていない。 ・市税等の滞納がない。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・過去に高齢者福祉の仕事に携わった経験のある人材を配置。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・運営管理している施設間での人事交流、部門別研究会、職場研修及び派遣研修等により、人材の育成を図る。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・指定管理者が作成した「危機管理マニュアル」及び「地震防災マニュアル」に基づき対応。	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・地域高齢者福祉の拠点となるように努める。 ・地元の法人その他の団体に業務の一部を委託している。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加など地元団体との連携	・地元自治会、社会福祉協議会、保健センター等と連携を深めていく。 ・施設周辺の日常清掃の実施など地域環境美化へ積極的に取り組む。	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート結果はどの項目も満足度が高く、利用者には十分満足していただいていると考えている。次年度も利用者から高い評価を得られるよう更なるサービスの向上に努めたい。 ○庭園の管理(除草、樹木選定等)、小修繕、並びに利用者が使用する座布団カバー等のクリーニングは職員が行い、経費削減と快適な環境保持に努めている。 ○当会館周辺の清掃を週2回程度行い地域の環境美化に取り組んでいる。 ○利用者が安全・安心して利用できるよう施設の点検を行い破損箇所等の早期発見に努めている。 ○保健センターと連携して「認知症予防」等に関する一日講座を26年度は3回開催した。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>利用者増に向けた取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者増に向けて ①一日講座の開設並びにコーラス講座を新たに開設した。 ②中日新聞のホームニュースに会館の活動状況を掲載した。 ③2月に金融機関で作品展示会を開催した。その際チラシを配布して当館の利用を呼びかけた。 <p>以上の結果、下期の利用者(8,198人)は過去5年間(平均利用者は7,967人)で最多の利用者数となった。</p>
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートで要望が多かった講座を開設する。また、保健師による一日講座を開催する。 ○定員充足率が低い講座の開催回数を見直す。 ○受講者の創作意欲の向上と活動内容をPRするために館外で作品展を開催する。

●所管課の意見

<p>開催する講座のPRのために、市発行の「広報ぎふ」に掲載するとともに、館内の掲示板、コミュニティセンター等へチラシを配布する等広く広報活動を行っている。</p> <p>作品展示会の開催し、講座受講者の創作意欲の高揚を図るとともに、当館の活動内容をPRして利用者増加に努めた。</p> <p>また、青少年ルームとの複合施設という利点を生かし、日頃の講座・サークル活動の成果を発表する「西部祭」を開催し、両世代の交流促進及び地域の活性化に努めた。</p> <p>新保健センターと連携し、認知症予防に関する一日講座を開催した。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書のとおり適正に管理運営されており、良好である。</p> <p>新規講座の開設等様々な取組みを行ったことにより、利用者の増加に繋がった点が評価できる。</p> <p>今後も継続的にニーズを把握することで、多くの市民が参加できる交流施設となるよう期待する。</p>
--